



せたがや 介護ネットニュース

第 61 号

発行日：平成 29 年 8 月 30 日

発行：世田谷区介護サービスネットワーク

事務局：世田谷区福祉人材育成・研修センター

住所：世田谷区成城 6-3-10

砧地域部会きぬたカフェ～たまには思いっきり『ぐち』っちゃおう～を開催しました。

平成 29 年 7 月 14 日に成育医療研究センター 12 階にある「レストランつばさ」できぬたカフェを開催しました。日頃から地域の一員として成育医療研究センターとのお付き合いがあり、信頼関係も築けていたので広々とした眺めも素晴らしい会場をお借りすることが出来ました。レストランつばさから見える風景をぜひ多くの人に見てもらいたい！そして我が地域にあるこんな素晴らしい成育医療研究センターを実際に見て欲しいと思いきぬたカフェ当日まで準備をしました。

広い会場を満員にできるか、また、もみじの家とリハ室の見学が予定通りできるか心配でした。しかし、当日はなんと参加者数 117 名。事業所のアピールタイムも設けたところ、アピール事業所 28 事業所。メンバー全員が協力し個別に声かけをした結果に満足しています。もみじの家とリハ室見学も滞りなく実施でき、見学をメインとした勉強会も行いたいと



いう意見もあがりました。

現場での愚痴を語りあうという趣旨でカフェを開催しましたが、今後につながる意見も様々出たようです。最後には人には言えない愚痴を紙に書いていただき、集めてしっかり封をしました。今後地域のイベントに参加してお焚きあげしていきたいと考えています。

私個人としても今回のきぬたカフェで地域の人たちとの交流を深めることの大切さを学びました。介護関連だけでなく地域で生活する人々がお互いに手を取り健康で豊かな暮らしができる世の中をつくらせて行きたいと思いました。

成育医療研究センターのご協力に感謝し、そしてたくさんの皆様のご参加ありがとうございました。

砧地域部会部会長：草野健朗



せたがや通所連絡会研修会 小さな場所でも座ってできる「高齢者の筋力アップ体操」

平成 29 年 7 月 26 日（水）に介護ネットサービスの主催による「高齢者の筋力アップ体操」の研修会を開催しました。

当日は通所事業所以外にも居宅、小規模多機能、施設など様々な分野の方々の参加があり、18 事業所 33 名と大勢の方に参加頂きました。

講師は昨年と同様に健康運動指導士、介護福祉士の資格をおもちで、楽しくて元気になる運動を色々な事業所で指導なさっている佐野公美子先生をお招きし、実践的な筋力アップ体操の方法を教えてくださいました。

研修では「深呼吸の方法」「運動に合わせて声を出すこと」「最初はゆっくり」等の注意事項を確認し、リラックスした雰囲気で行われ、手、指、足首、足、腰、腹、胸、

背中、肩まで柔軟性を高める運動と、筋肉に負荷を与える運動を、利用者が慣れているだろう日常的な動作を取り入れた、理にかないなながらも楽しい体操でした。また、狭いスペースでの運動の方法等も優しく丁寧に教えていただきました。

参加者は明日からでも自事業所に戻って実践してみたいとの声も聞かれ、大変に有意義な研修となりました。

せたがや通所連絡会では幹事職員を随時募集しており、介護研修に興味がある方や他事業所と情報交換したい方は気軽に声を掛けて頂けたらと思います。

デイ・ホームたまがわ 菊本浩三

研修グループ平成 29 年度第 2 回スポット研修報告

平成 29 年 7 月 24 日、研修センターにて、虐待防止のための連続研修第 2 弾『高齢者の尊厳を守る「高齢者虐待防止と権利擁護」～声なき声の気づき～』を開催しました。講師に、長年にわたり世田谷区の高齢者虐待対応のシステムづくりに奔走なさっている世田谷区高齢福祉部長の瓜生律子氏をお招きしました。参加者は 40 名でした。

まず高齢者虐待対応の流れお話いただき、次に虐待発生には様々な要因があることをお話いただきました。なぜ虐待が起こっているのか、要因に関心をもって情報収集することが必要です。私たちは要介護者だけでなく家族全体を見る視点が不可欠です。その視点を持つことで、家族の歴史や、本人に対する家族の思いに関心を持ち、耳を傾けることで家族の関係性が見えてくるので、虐待が起こっている要因が見えてくること



があります。それから、私たちは、どこの家庭でも、虐待が起こりうると思っにかかわること。「おやっ？」と思ったら虐待を疑うこと

も必要であると、介護サービス提供者としての心構えについてのお話もしていただきました。

後半はグループに分かれ「これって虐待？」と話し合いを行いました。参加者同士、活発に意見を出し合いました。しかし、いざ話し合ってみるとわからない



ことがたくさんあることに気づかされました。新聞事例で他人が家の中に入ってくるのが嫌だった息子さんが外からの助けを受け入れるようになるまでの話にはいろいろ考えさせられました。

それは、息子が虐待の意識もなく行っていた行為、自己判断で投薬を減らす、母親は入れたものを口から吐く、寝間着も毛布も汚れたまま、緊急搬送され虐待を疑われた。「真剣に介護しているのに何故？辛すぎて誰にも SOS が出せなかった。その時、今まで、「息子さんの意識が変わるまで待つ」という態度でかかわっていた診療所が強引に立ち入り何度も話し合うことで、初めて息子も胸中を吐き出した、という経過でした。

実りある研修で次回の第 3 弾につながる研修になりました。

研修グループ 丸茂典子

北沢地域部会 平成 29 年 7 月 21 日 北沢地域部会納涼会を開催

今回はやはりなんと言っても目的はおいしい料理。(もちろん交流もです笑) 下北沢の住宅街に少し入った場所にあり、これは正に知る人ぞ知るだなど。隠れ家的カフェ Shimokita Farm (しもきたふぁーむ) は、和歌山県熊野にある「しもひらふぁーむ」にて作った



お米・野菜・じゃばらを使用しており、原材料からすべてに厳選されている食材を使用しているという評判通り、いやそれ以上の BBQ を体験できました。

もちろん上記のような雰囲気で行われた納涼でしたので、会話も弾み多くの方と交流ができました。本当にありがとうございました。



当初、地域の違いはあるだろうかと思いましたが、地域は違えどみな思いは一緒。そう痛感いたしました。介護のこと、地域のこと。みな前向きに考えていて、そしてこういう発言、交流の場がもっと機能していけば明るい地域を実現できると感じました。

北沢地域部会 草野健朗

烏山でサバイバル企画第1弾「災害で大事な人をまもるために今からできること」

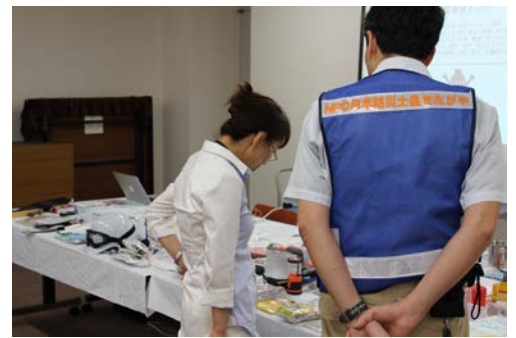
平成29年7月13日(木)烏山区民センター3階集会室で、防災のためのイベントを行いました。烏山地域部会では昨年度発足以降さまざまな取り組みを行ってきましたが、介護事業所間の多職種連携をいくら進めても、地域住民の方々に認知されなくては意味がないのではないかと考え、地域の方にも参加していただけるイベントを企画しました。地域の防災力をあげる事を目的とし、防災士の菊池顕太郎氏の講演、防災についてのクイズラリー、防災時に役立つ福祉用具体験などを行いました。災害発生時に備えて用意しなければいけないもの、発災時に私たちはどのように行動し



なければいけないのかなどを講演やクイズを通して知識を習得できるようにしました。

イベントの開催に際し、地域の方々に周知するためにはどうすればよいらろうと試行錯誤し、地域の掲示板の利用、商店街のアナウンス、民生委員の方々やサロンなどにチラシを配布しました。また(株)やさしい手と千歳敬心苑から非常食などを来場者へのお土産

として提供していただきました。当日来場者はいるのだろうか一抹の不安を抱きながらの幕開けで



したが、約100名の方が来場し、「今までの防災知識が間違っていたことが分かった」「水の大切さがわかった」など多くの感想も寄せていただいています。地域の方々との交流を通して、私たちの地域包括ケアに向けた新たな課題もみえてきました。

平成29年10月1日に行われる「せたがや福祉区民学会」にて今回のイベントを中心とした烏山地域部会の取り組みについて発表する予定です。



烏山地域部会 酒井美知子

世田谷地域部会「若林中央商店会 七夕まつりと抽選会」参加

平成29年7月2日(日)に若林中央商店会が主催の「七夕まつりと抽選会」に若林あんしんすこやかセンターと協同でブースを出展しました。

世田谷地域部会からは、熱中症予防の涼み処として簡易プールの周りに椅子を用意して、冷たい水に足を入れて休める休憩場所を作りました。また大塚製薬工場の協力で経口補水液OS-1の試飲をしました。他にも会員事業所に協力をしていただき、時間ごとに様々なプログラムを実施しました。



無料フットケアは待ち時間

ができるほど好評でしたし、管理薬剤師の方がお薬の質問などに直接答えてくれたり、理学療法士さんが健康体操を指導してくれたり、福祉用具の展示も行い



ました。とても蒸し暑い日でしたので、最終的に簡易プールは子供たちの遊び場になり、とても楽しそうな声が上がっていました。

世田谷地域部会としては、各あんしんすこやかセンターの方と協力しながら地域との連携を深めていくきっかけになったのではないかと思います。

今後も様々な活動を通してたくさんの繋がりを作っていきたいので、世田谷地域部会に協力していただけるメンバーを募っています。ぜひご参加ください。

世田谷地域部会 徳永宣行

『福祉用具専門相談員スキルアップ研修～ポジショニングをマスターしよう～』報告

平成 29 年 8 月 8 日にメーカーの株式会社タイカ様の甲斐さんを講師としてお招きし、せたがや福祉用具連絡会主催のポジショニング研修を行いました。総勢 10 事業所の 15 名での研修会となりました。

会員事業所 9・非会員事業所 1 で新人～ベテランと幅広い層での講習と実習形式で 1 時間みっちり研修



を行なう事が出来ました。

今、病院などでも床ずれについての指導が厳しくなっていており、実際の在宅の現場でも床ずれになってしまった、拘縮が進んでしまいベッドでの介助が大変だ、との声が多く聞かれる事があります。

誤った知識は悪い結果を招く。今回集まった福祉用具専門相談員に関しても床ずれ防止用具や体位変換器についても商品を見た事や触れた事があるが、なかなか現場での提案・導入に至っているケースが少ないとの話がありました。特に私達のような専門的な知識が必要な人間にとっては、いざ必要になった時に誤った知識では最悪の場合、悪化させてしまう可能性が十分にありえます。

今回の研修では、ポジショニングをどのようにする事で身体への負荷が少なくなり、ご利用者様の身体的

なストレスのかかっている部位などが、どうすれば緩和されるのかを色々なケースを考え全員で実習にて経験する事が出来まし

た。終わった後の声として実際に提案・導入を試みたことの話もあり、少し提案

に不安のあったのが解消されたなどの声を聞く事が出来まし

た。今後も、せたがや福祉用具連絡会は世田谷区で働く福祉用具専門相談員の全体的なスキルの底上げを行い、ご利用者様のより快適な生活の支援を行なっていきたいと思います。

せたがや福祉用具連絡会代表
須澤和也



訪問介護連絡会定例会「訪問介護の現状をみんなで語ろう」を開催します

平成 29 年 9 月 12 日(火)19:00 から梅ヶ丘パークホールにて「訪問介護の現状をみんなで語ろう」を開催します。

区事業者支援担当係長より総合事業などの現状報告をいただいた後、グループワークで「訪問介護の現状と今後について」について話し合います。その後、各グループからの発表により課題の共有を行います。

当日のまとめを世田谷区介護サービスネットワークのホームページで公表し、区への提言にもつなげることを目指します。

今年度から本格始動した総合事業制度、やってみただけこんな事が困った。ここは良かった。来年度の法改正ってどうなるか。他の事業所はどうやっているのだろう…。事業所がかかえる、そんな不安や疑問を持ち寄る。明日からの介護サービスや事業所運営に役立つヒントを得られるかもしれません。皆で知恵を出し合いましょ！

訪問介護連絡会代表 磯崎寿之

投稿 世田谷で初めての「認知症 VR 体験会」を開催しました

平成 29 年 7 月 25 日、シルバーウッドの下河原忠道氏にお越しいただき、VR を体験しました。当日は、介護職に加え、地域で認知症の人を支える市民・区民も加わって 45 名でした。

「ぼくは認知症予防という言葉が嫌いなんです。なぜかというそれは認知症の人を排除することにつながるから」といったシビアな視点も満載の、下河原さんの軽快で熱くユーモアいっぱいの解説に、笑いと拍手が絶えない刺激的な体験会となりました。

今回、体験したのは 3 本の VR。1 本目は何度体験してもキョーフを味わう「認知症の人の感覚」。送迎車のステップを降りるだけなのに、ビルの屋上から突き落とされるような感覚を体験します。これは実際に下河原さんが見た光景がモデル。送迎車で帰ってきた利用者さんが、嫌がってステップをどうしても降りようとしないので、理由を聞いたところ「突き落とされるようで怖かった」と語ったとか。

体験中には、「うわっ！」という叫びや、よろけたらしい「ガタン」という音が周囲からいくつも聞こえ、私もふらついて思わず机に手をつきました。終了後の「体験の共有」では、みんなが興奮してわれ先に話すので、隣の人の声が聞こえないほど。「こんなに熱心な参加者は珍しい。今日来て、ぼくは嬉しいです」

という下河原さんのコメントが出るほどの「共有」ぶりでした。

2 本目は「電車に乗って行き先

がわからなくなったとき」の体験。VR のゴーグルの中では 360 度の光景が見られるので、あちこち首を回していると、車酔いに似た感覚が出てきて、居場所のできることは何だろう不安感が実感できます。そして、3 本目は樋口直美さん監修の「レビー小体型の人の幻視」。人が居たり、犬が出てきたり、いろんな幻視が見えますが、極め付きは最後のシーン。「うわわわ〜！」の音があちこちから聞こえます。

「認知症を知れば知るほど、自分ができるとは何だろうと、考えるようになったと下河原さん。今後も多方面のコンテンツを。制作中とのこと。違うものも見たいとの声が多数ありました。

ライター 中澤まゆみ



研修グループ平成 29 年度第 3 回スポット研修報告

平成 29 年 8 月 9 日(水)、研修センターにて虐待防止のための 3 回連続研修第 3 弾『あなたのその言葉の使い方！実は相手に不快感を与えていませんか？』～みんなで作ろう～が開催されました。参加者は 40 名、6～7 人ずつ、5 グループに分かれての、ワールドカフェ形式の研修です。進行役は中浜崇之氏にお願い致しました。中浜崇之氏は「介護を文化へ」を目標に介護職の組織を超えて様々な活動を行っています。

ワールドカフェは初めてという方も大勢いらっしゃいましたが、中浜氏の楽しい語り口でカフェの主旨、目的を説明していただき、さあスタート！「相手に不快感を与えている言葉や態度とは？」みなさんファシリテーターの出る幕がないほど活発に意見を出していました。「無視される」、「命令口調で話す」、「はい、はい、はいといい加減な返事」、「赤ちゃんに話すような口調」、「大きすぎる声」、「馴れ馴れしく名前と呼ぶ」などなど続々出てきます。

なかには両親が介護を受けているのだが、担当のケアマネが両親をお父さん、お母さんと呼んでいる。自分の親でもないのに不快だ、若い子の言葉はお年寄りにはわからない、「ヤバイ」はダメでしょう！という、「なるほど！」と思う意見もありました。

毎日介護現場に出ている自分の態度、言葉使いを大いに反省しました。グループを移動し

てメンバーが変わっても白熱した話し合いは続き、最後に「明日から私はこうします」との誓いの声明文をそれぞれが書き、発表して研修が終了となりました。

レビー小体型認知症おしゃべり会の加畑裕美子氏のレビーの方の性格、声かけなど家族ならではの貴重な話も伺い、女優で介護士の北原佐和子氏の参加もあり、とても楽しく有意義な 1 時間 30 分でした。

また、アンケートには、普段聞けない介護家族の方のお話が聞いて勉強になったとの声が多くみうけられました。虐待防止のための連続研修、3 回とも出席した方もおり、盛況に終えることができたと思います。

研修グループ 斉藤典子



研修情報・イベント情報

【世田谷区介護サービスネットワークの今後の予定】

◆【研修グループ】☆

1) 「在宅」の看取り「施設」の看取り

平成 29 年 9 月 9 日（土）12:30～16:00

会場：成城ホール集会室 CD 定員 90 名

一部：講演：遠矢純一郎氏（医療法人プラタナス 桜新町アーバンクリニック院長）、小川利久氏

（(株)エイジングサポート代表取締役）

二部：座談会 司会：中澤まゆみ氏（ライター）

2) 「感染症研修」

平成 29 年 10 月 25 日（水）18:30～20:30

会場：研修センター 定員 45 名

講師：佐々木静枝氏（世田谷区社会福祉事業団参与）

◆【北沢地域部会】☆

雑居まつり参加

平成 29 年 10 月 8 日（日）

◆【世田谷地域部会】☆

1) 桜木中学校総合授業に参加

平成 29 年 9 月 9 日（土）午前中

2) 若林クラブフェス 2017 に参加

平成 29 年 9 月 24 日（日）

3) 経堂すずらん通りほっとステーションに参加

平成 29 年 9 月 13 日（水）及び 10 月 11 日（水）

◆【烏山地域部会】☆

1) 文化祭打ち合わせ

平成 29 年 9 月 11 日

2) 烏山区民センター文化祭 参加

平成 29 年 10 月 14 日

会場：烏山区民センターなど

◆【世田谷区福祉人材育成・研修センターの研修予定】☆

1) 障害福祉の理解研修 高次脳機能障害の理解～医師・当事者・支援者から学ぶ～

平成 29 年 9 月 6 日（水）14:00～17:00

会場：三茶しゃれなあどホール オリオン

2) ケアマネリーダー養成（4 日目）

平成 29 年 9 月 7 日（木）14:00～17:00

会場：研修センター

3) サービス提供責任者研修【現任 2】 自立支援につながる訪問介護計画書

平成 29 年 9 月 8 日（金）9:30～16:30

会場：研修センター

4) 介護職員研修【現任 1】 手の力を学ぶ～「触れる」技術を高める～

平成 29 年 9 月 11 日（月）14:00～17:00

会場：研修センター

5) 多職種で学ぶところとからだの理解【第 1 回】

「老化に伴う身体的機能の変化が日常生活に及ぼす影響」

平成 29 年 9 月 12 日（火）14:00～17:00

会場：研修センター

6) 介護職員研修【現任 3】 介護職が学ぶ精神障害者への支援

平成 29 年 9 月 14 日（木）14:00～17:00

会場：研修センター

7) 多職種で学ぶ対人援助技術 本人・家族とのコミュニケーション

平成 29 年 9 月 22 日（金）9:30～16:30

会場：研修センター

8) 多職種で学ぶ対人援助技術 チームにおけるコミュニケーション

平成 29 年 10 月 5 日（木）9:30～16:30

会場：成城ホール 集会室 C・D

9) ケアマネジャー研修【リーダー 4】 スーパービジョン事例検討

平成 29 年 10 月 10 日（火）14:00～17:00

会場：研修センター

10) 認知症ケア研修【基礎 4】 認知症のアセスメントと支援～状況の見立てと支援計画～

平成 29 年 10 月 10 日（火）14:00～17:00

会場：世田谷区男女共同参画センター らぶらす 研修室 3・4

11) ケアマネジャー研修【現任 2】 事例演習 2 日間（第 1 回目）

平成 29 年 10 月 11 日（水）11 月 1 日（水）14:00～17:00

会場：研修センター

12) ケアマネリーダー養成（5 日目）

平成 29 年 10 月 11 日（木）14:00～17:00

会場：研修センター

13) 多職種で学ぶところとからだの理解【第 2 回】

「老化に伴う心理的変化の特徴と日常生活への影響の理解」

平成 29 年 10 月 11 日（水）14:00～17:00

会場：成城ホール 集会室 E

14) 運営管理職員研修

平成 29 年 10 月 12 日（木）、13 日（金）9:30～17:00

会場：研修センター

15) 福祉従事者としてのビジネスマナーの基本

平成 29 年 10 月 25 日（水）14:00～17:00

会場：研修センター

16) 多職種で学ぶ医療・福祉連携研修【第 2 回】

平成 29 年 10 月 30 日（月）19:00～21:00

会場：成城ホール集会室 C・D

☆印のイベントの問い合わせは、事務局まで。



問い合わせ先

社会福祉法人世田谷区社会福祉事業団

世田谷区福祉人材育成・研修センター

電話:03(5429)3100、FAX:03(5429)3101